

慢性硬膜下血腫における 発生要因の調査についてのお知らせ

慢性硬膜下血腫とは、軽い頭部外傷後、頭蓋内に徐々に血腫が貯留した状態をいいます。この疾患は飲酒量の多い高齢者に発症することが多く、ベッドから転落して頭を打ったり、ふらついて壁やタンスに頭をぶつけるといった、ごく日常的な軽い打撲から発症します。血腫が小さい場合は、ほとんど症状が出ることなく自然に治癒しますが、慢性硬膜下血腫を発症する患者さんの特徴では未だ明らかにされていないことが多くあります。

今回、慢性硬膜下血腫発症時の患者さんの身体的・精神的・社会的特徴を明らかにし、今後の看護を行う上で役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2018年1月から2019年1月の間に慢性硬膜下血腫で穿頭洗浄術を受けられた患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、既往歴(再発の有無)・家族背景などについて統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

総合6階病棟 看護師 大坪朋子・大塚美咲

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)

